

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.133)

1. 平成27年度安全セミナーについて



豊田施設では、事故再発防止のために平成22年度にとりまとめた豊田事業所再生計画に基づき、PCB処理を安全に進めるための教育訓練の一環として今年度も定期的に安全セミナーを開催していきます。

■平成27年度安全セミナー実施計画

平成27年度も前年度に引き続き、JESCOに関する法令、過去の事故・トラブル事例、緊急時の対応、ヒューマンエラー防止策、豊田事業所再生計画等をテーマにして12回の安全セミナーを開催する予定です。

4月度の第1回は、新年度の最初のセミナーということで「PCBについて」と題して、PCBの性状や有害性等について再認識するとともに、万一暴露した場合の応急措置や緊急時の対応等についての教育を行いました。

2. 社員提案制度の表彰

豊田施設では『社員提案制度』を実施しています。これは安全で確実な操業、作業効率化・合理化及びコスト削減等を目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、その実現に向けて検討、準備を行っていくものです。

平成26年度第2回(平成26年10月～平成27年2月分)には全51件の提案がありました。その多くは更なる安全性向上を図るものです。これら提案の実現により、安全・安定的な操業にJESCO及び運転会社が一丸となって取り組んでまいります。今回は優秀賞2件、佳作4件を選出し、4月21日の安全集会において表彰いたしました。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご案内

豊田PCB廃棄物処理施設では、5月3日(日)～5月25日(月)までの23日間、春期定期点検を行います。定期点検の詳細については次号(No.134)でお伝えします。

PCB処理事業紹介シリーズ 第14回

今回は蒸留設備をご紹介します。

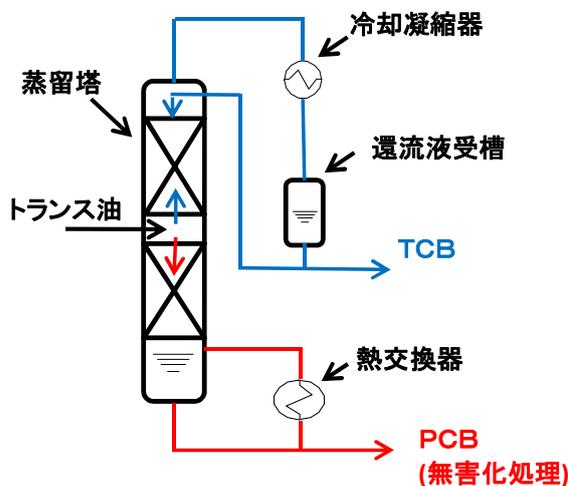
この設備は、液体が沸騰して気体になるときの温度(沸点)の違いを利用して混合物を分離し、別々に回収するための設備です。蒸留設備は、蒸留塔と熱交換器等の補機類から構成されています。蒸留設備の主要機器である蒸留塔について以下に説明します。

蒸留塔に入れられた混合物は加熱することで沸騰します。

低い温度で蒸発する物質(低沸点物)は気体になり蒸留塔の上部に上がって行きます。この低沸点物の気体はその後冷却されて液体として回収されます。

高い温度で蒸発する物質(高沸点物)はほとんど蒸発せず、蒸留塔の下側で液体として回収され次の工程へ送られます。

また、冷却して回収された低沸点物(液体)の一部を蒸留塔の上側に戻し、その気化熱で蒸留塔の上部の温度を下げることで蒸留塔全体の温度を安定させ、分離性能を保っています。



トランス油分離蒸留設備(イメージ図)

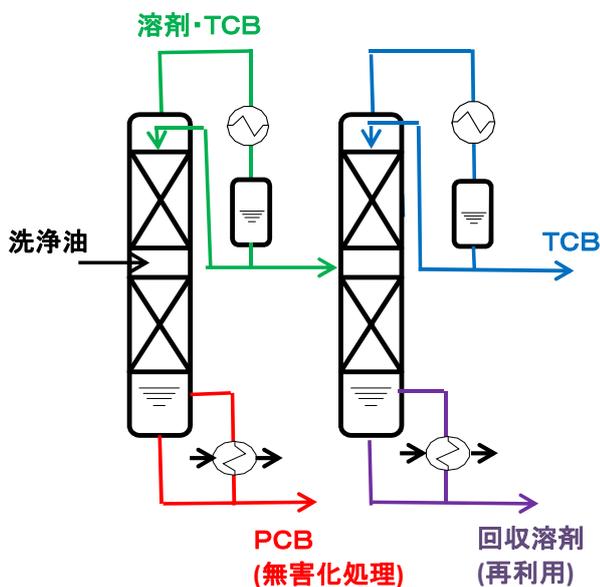
当施設には蒸留塔は全8本あります。その中から以下の蒸留塔についてご説明します。

(1)トランス油分離蒸留設備

トランスに含まれる絶縁油はPCB60%とTCB(トリクロロベンゼン)40%の混合物です。TCBは低沸点物、PCBは高沸点物です。TCBは蒸留塔の上部から回収されて、産業廃棄物として施設外に搬出されます。PCBは蒸留塔の底部から回収されて、次の工程(液処理)へ送られて無害化されます。

(2)洗浄油分離蒸留設備

トランス等の洗浄に使用したTCBを含んだ洗浄油(鉱物油=溶剤)はPCBよりも沸点が低いため、先に気体となります。PCBはそのまま液処理へ送られます。また回収した洗浄溶剤は2段目の蒸留塔でTCBと溶剤とに分離され、回収した溶剤は再利用します。



洗浄油分離蒸留設備(イメージ図)



デジ丸

問い合わせ先

アザランのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田PCB処理事業所 0565-25-3110

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>